

令和8年度 第1回 Astra!実行委員会 概要

1 実施日時 令和8年4月 30 日(木) 10:00~11:30 (オンライン)

2 参加者 実行委員 19 名 有識者1名、他関係各課担当者の参加

3 会議録

【河西義務教育指導係長】皆様、こんにちは。それでは、We Are Astra! 令和8年度 第1回実行委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の進行を務めます、学びの改革支援課 義務教育指導係長の河西 巧と申します。よろしくお願いいたします。今回は、長野大学准教授 飯塚秀彦様にもご参加をいただいております。ぜひ一緒に議論に加わっていただければと思います。飯塚先生、よろしくお願いいたします。

【飯塚准教授】よろしくお願いいたします。

【河西義務教育指導係長】よろしくお願いいたします。それでは Astra!実行委員会 武田会長からご挨拶をいただきます。武田会長、よろしくお願いいたします。

【武田会長】皆さん、おはようございます。今日は We Are Astra! 第1回の実行委員会ということで、お忙しい中、どうもありがとうございます。皆さんご承知の通り、長野県にはいくつも、将来にわたって課題があるわけで、その1つは人口減少であり、少子化であります。また、働き手の不足というのも、すでに現れてきている課題ですけども、例えばエッセンシャルワーカーが足りないとか、理系の人材が枯渇状態にあるとか、そういった色々な先々の課題があるわけであります。米百俵の話でも特徴的に言われているところですけども、かつて戊辰戦争で困窮した長岡藩に、隣の藩から贈られた米 100 俵を、すぐに配って食べるのではなくて、それで学校を作ったという話でございまして。つまり、人材育成・教育の重要性ということを、象徴している1つの話だという風に捉えています。この We Are Astra!は県内の様々な関係者が連携して、将来の担い手を育てていくということが主たるものでございます。それぞれのところには、それぞれの課題があつて、またそれぞれの事情があらうかと思ひます。しかし、未来の長野県を託す人を育てていくんだ。この1点に、皆さんにご参集いただき、ご協力していただき、そしてみんなで手を携えていくということが、この事業の一番の目的、ねらいであります。この機運を県内各地に醸成し広げていくということが、今後重要だと思います。その中核となるのがこの Astra!実行委員会であらうと思っています。今年第1回の、小学校5年生から中学2年生の子供たちに、この1年間のプログラムを体験して学んでいただくわけですけども、私たちが予想していたよりも多くの子供たちが、手を上げてくれたということは非常に喜ばしいことでありますし、そういったことを通して、第1回より第2回、第2回より第3回と、この会の一番の目的・目標であります、県内のいろんな人が手と手を携えて将来の長野県を担う人を育てていく、人材を育てていくことを目指していけたらと思います。このことが、全国どこの県でも同じような課題を抱えているんだらうと思いますけども、全国の先駆けとなるような

取組にしていけたらと、そのようなことを思っておりますので、皆様方と共に、この未来、この私たちの信州の未来を担う、人材を、人を育ててまいりたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

【河西義務教育指導係長】ありがとうございました。それでは本日はこちらのスライドにあります通り5点について、検討してまいります。よろしくお願いいたします。本日の参加者の皆様につきましてですけれども、この後チャットに、ご参加いただいた皆様の名簿を共有させていただきます。本来であればお1人お1人からご挨拶いただきたいところではありますが、時間の関係で名簿にてご確認をいただくという形で失礼をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。続きまして、令和7年度実行委員会のまとめについて振り返ります。昨年度は Astra!事業が目指す姿や願い、プログラムの内容、参加児童生徒の選抜方法等について、実行委員会で検討を進めた1年でありました。まずは Astra!事業が目指すもの・ことについて、改めて田中課長よりお願いいたします。

【田中課長】皆様、こんにちは。改めまして、Astra!実行委員会の事務局を務めております、長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課の田中でございます。私からは、昨年度のこの実行委員会において、どのようなねらい、目的において進めてきたかということについてお話をさせていただきます。それでは、スライドをご覧ください。今、武田会長からもあった通り、長野県は現在、人口減少や担い手不足といった大きな課題に直面しております。特に、これからの地域や産業を支えていくための人材をどう育て、どう地域につなげていくかという点については、教育の分野だけではなく、まさに地域そして長野県全体で向き合うべき課題であると考えております。そうした背景のもと立ち上げたのが、この We Are Astra!事業でございます。この事業のねらいは、地域の経済や産業、教育を支える多くの皆様と連携・協働しながら、子供たちが「世界の中の長野県」という視点を持って学び、将来長野県の担い手として育っていくことを後押しすること、そして長野県の明日を切り開く担い手を育成することにあります。この Astra!プログラムは、産官学が繋がり、長野県から未来を作っていくという新しい人材育成モデルとして、これからの学校教育のあり方、地域全体で子供たちを育てていくという仕組み、そのモデルとなる取組、まさに仕組みづくりを目指しているところでございます。地域全体で子供たちを育てていく仕組みとして、この事業は実行委員会形式を取っており、企業、大学、経済団体、地域の皆様と一緒に、プログラムを作っていくとしております。実行委員会では、長野県内でどのような子供たちを育てていきたいか、どんな体験をしてほしいか、また年間プログラムの具体等について、これまで検討していたところでございます。その詳細につきましてはこの後、事務局担当よりさらに説明をさせていただきます。では藤森さんお願いします。

【事務局】事務局で担当を務めさせていただいております、藤森と申します。よろしくお願いいたします。昨年度は、実行委員会を3回実施させていただきました。第1回目は名誉会長である知事にも来ていただいて、まずは事業の説明をし、「児童生徒が長野を担う人材になるためにはどのような体験や学びが必要だと思いますか」と、いったところから議論を進めてまいりました。第2回の実行委員会、9月9日では Astra!プログラム構成について、また、事業を継続的に実施していく

ためには寄付等の活用も必要ではないかといったことについて、議論を重ねてまいりました。いよいよ第3回目の実行委員会では、第2回実行委員会までのまとめ、プログラムを修正させていただきながら、Astra!メンバーの選抜基準・選抜方法について検討をしました。運営スタッフも出していただきながら、各行事は実施していくということで、推薦のお願いもさせていただき、何名かの運営スタッフの方を今、推薦いただいているところです。4点目として「ガチなが」についてということで、寄付募集の協力について話をさせていただいたというのが、昨年度までのところになっています。本日も内容についてディスカッションいただくのですが、このAstra!実行委員会では方向性の決定をするといった形になっています。実際の行事の運営は、各団体から運営スタッフを出していただきながら、例えば今日検討いただくのがこちらの企業等訪問になるんですけれども、事務局・私たちや教育事務所の指導主事も入りながら、また各団体の運営スタッフを出していただきながら実施していきたいというところです。3月25日には、「ガチなが」のホームページも公表されました。こちらをまた実行委員会で呼びかけていきながら、令和9年度以降の子供たちの海外視察研修の実施を目指していきたいと考えております。以上が、令和7年度実行委員会での取り組みです。

【河西義務教育指導係長】今年度、何名か委員の皆様の変更もございました。ここまでで何かご質問等はございますでしょうか。

それでは、令和8年度は、これまで積み重ねてきた議論を土台に、いよいよ本事業が本格的に動き出す節目の年となります。続いて、今年度のAstra!事業の主役となるAstra!メンバーの紹介に移りたいと思います。それでは事務局お願いします。

【事務局】参加児童生徒を動画にて紹介させていただきます。

(動画再生)

【田中課長】今ご覧になっていただいた17名が、今年のAstra!プログラムに主として参加するAstra!メンバーとなります。今年度のAstra!メンバーの募集は昨年度末に行わせていただいたところですが、定員15名に対しまして2倍に当たる応募がございました。多くの児童生徒がこのAstra!の事業に強い関心を寄せてくれたことは大変嬉しく感じているところでございます。またこの選考にあたりましては、実行委員会の県市町村教育委員会連絡協議会の北澤委員、県民学級の支援課の内山委員、県商工会議所連合会の徳武委員、信濃教育会の大日方委員、県産業労働部産業人材育成課の河野委員、国際ロータリーの白鳥委員、県小学校長会の桂本委員、県特別支援学校長会の勝又委員にご協力をいただきまして、オンライン面接を行わせていただいたところでございます。また日程によりご協力いただけなかったのですが、県商工会連合会の中村委員にも協力のお申し出をいただいていたところでございます。15名の定員だったのですが、非常に応募が多かったということで、小中1名ずつを加え、17名の選出という形を取らせていただきました。本日は、この17名の今年のAstra!メンバーの子供たちに対して、どのようなプログラム

を構築していけばよいかといったところで、また具体的なアイデアを委員の皆様から出していただき、皆で協議を重ねていければと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

【河西義務教育指導係長】 それでは次に進ませていただきます。6月6日土曜日、キックオフミーティング・グローバル体験キャンプについてです。この日は Astra!メンバーにとって、Astra!とは何かを体で感じる 1 日となります。まず事務局より概要を説明させていただいた後、実行委員の皆様には各分担に分かれ、どんな準備や当日の動きが必要になるか、ご検討いただければと思います。それでは事務局お願いします。

【事務局】 6月6日土曜日、キックオフミーティング・グローバル体験キャンプの案でございます。日時は、そちらに記載の通り6月6日9時から 16 時ということで、今のところ設定させていただきました。会場は、長野県総合教育センターの、最も広い講堂、その他の部屋、調理室も今のところ予約をしてございます。参加者は長野県内の小中学生、Astra!メンバー先ほどの 17 名と、あとオープン参加・Astra!フレンズの子供たちをあわせ、計 30 名。信州大学に來ている留学生が、今のところ 50 名ほど参加してくれるという予定です。あと、ご都合のつく実行委員会の皆様にも、一緒に來て運営の方にご協力いただきたいなと考えているところです。子供と留学生、Astra!実行委員等を含む地域の方々が、同じ学びとして「長野×世界」を体感する1日のプログラムとなればなということを考えています。総合教育センターですが、塩尻の山の手になりますが、こちらで実施したいと考えています。こちらが総合教育センターのホームページになります。入り口から入っていただいて、こちらの講堂をメインの会場と考えています。講堂は普段このような形になっておりますが、机は片付けることも可能ですので、かなり広いスペースがあると考えていただければと思います。調理の方は2階の実習室の方で行うことが可能です。1日のテーマとしては「150 年¹の長野×世界の眼差し ―今と未来を、語って食べて感じる―」。本キックオフ・グローバル体験キャンプでは、互いの地域紹介や自己紹介を行ったり、日本・長野のいつもの食と世界のいつもの食を手がかりに、文化・暮らし・価値観の違いや共通点に気付いたりすることを通して、これからの長野の姿を考えるきっかけとしたいなと考えています。この日に集う全ての人が互いを知り、長野県の中にある多様性に出あう。そのようなことができる 1 日になればと思っています。当日ですが、子供たちを含め、9時に総合教育センターの方に集まって、みんなで準備をしながら、10時から 10 時 30 分のところが全体のキックオフ。10 時 40 分からは2つのグループに分かれて、1つのグループは調理、もう1つのグループは交流・アクティビティ、こちらは講堂でと考えています。みんなで昼食を取った後に、午後は、調理はデザートですとか飲み物、そのようなものを考えています。もう1つは交流・アクティビティです。全員で、2 時 45 分のところから 30 分間、1日の振り返りをし、全員で片付けをして終わると、このような形で考えてみました。

この後ですが、それぞれの係ごとに分かれて、この内容の方も一緒に考えていけたらと思うのですが、キックオフのところは、昔と今の長野の写真を提示しながら、「150 年前の長野と今の長野、

¹ 明治 9(1876)年 8月21日、筑摩県と長野県が合併し現在の長野県が誕生し、令和 8(2026)年に 150 周年を迎えます。(https://150th.pref.nagano.lg.jp/)

どんな違いがあるかな。」とか、「未来の長野はどんな場所になっていると思う？」などと問いかけながら、自己紹介をしたり、みんなで考えたりしていけたらなと思っています。午前中のプランと午後のプランです。午前中の調理は、おにぎり・味噌汁作りです。全員分作りたと思っています。講堂の部分の内容は、写真やイラストなどを持ってきてもらい自己紹介等を考えています。午後の調理のところは、留学生から世界のスイーツについて教えてもらって、一緒にスイーツ作りをするといったことを考えています。1日を通してどの活動も Astra!メンバー、Astra!フレンズ、実行委員会、事務局、100名程度みんなでいろんなグループになって活動していく。そんなイメージであります。2時45分から3時15分のところは1日の振り返りということで、午後に作ったスイーツなどを食べながら、今日1番面白いなと思ったことや心に残ったこと、世界や長野について新しく気付いたことなどを交流し、片付けをして1日が終了になるといったことを考えているところです。では続いて、田中課長お願いいたします。

【田中課長】 それではディスカッションに入っていきたいと思いますが、最初にも申し上げた通り、この Astra!の事業は長野県教育委員会が行っていく事業ではなく、この Astra!実行委員会皆で作っていく事業としたいというところを、強く考えているところでございます。ですので、今事務局より提案させていただいた6月6日のキックオフについても、議論のための叩き台という形で捉えていただき、この後のディスカッションでぜひ、こうした方がよいのではないか、というようなところをお出しいただきたいと考えております。また、実行委員会全体でこの事業を進めていきたいという趣旨から、ぜひこの6月6日のキックオフには、各団体様から運営スタッフとしてご協力をいただきたいというように思います。そちらの関わりも、ぜひ合わせてご検討いただきたいというように思っております。またどうしても当日のご協力が難しいという場合には、事前準備、また広報活動等において協働させていただければというようにも考えておりますので、重ねてよろしくお願いします。

では、ここまでのところでご質問等ないようでしたら、ディスカッション1のブレイクアウトに移ってまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。内容について、ブレイクアウトのところでお出しいただいても全く構いません。ではディスカッション1に入っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(ディスカッション1)

【河西義務教育指導係長】 皆様ありがとうございました。続いて7月11日、企業等訪問について検討をしてまいりたいと思います。現段階では、長野県商工会連合会様、長野県森林組合連合会様、JA 長野中央会様から、行事の内容や詳細について、検討したり運営に携わっていただくスタッフを推薦いただいております。それでは、7月11日の企業等訪問について、事務局より説明をさせていただきます。では事務局お願いします。

【上條】 事務局の上條です。よろしくお願いします。参加人数は30名程度、交通手段はバスを想定しております。コンセプトは「長野の良さを知ろう、あなたの会社を教えてください」ということで、企業を訪問させていただき、その中で企業の様子を見学させていただいたり、担当者の方との

対話を通して長野の良さや会社さんの魅力、そして世界に繋がっていく要素等を見出していったりする、というような機会を考えてみました。運営スタッフの皆さんとオンラインで打ち合わせを重ね、当日を迎える予定でおります。可能であれば当日の運営にご協力をいただけると大変ありがたいです。本日検討をしたい点について、大きく2点になります。訪問できそうな企業4社程度を、皆様に挙げていただけるとありがたいなと思っております。実現可能性があるかどうかも含めて、このような会社であれば魅力が伝わるのではないかなという会社を、中信地区で出発点を松本駅もしくは松本合同庁舎を想定しておりますので、松本近辺でできるだけたくさん挙げていただけるとありがたいなと思っております。あわせて、Astralメンバーが集合して協議できそうな場所について、集まって振り返りや対話をしたりできるような場所、お借りできそうな場所のアイデアを出していただければ大変ありがたいなと思います。具体的なアイデアをたくさん出していただくことによって、運営スタッフがコースを構築する時の参考にさせていただきたいなと思っております。説明は以上になります。

【河西義務教育指導係長】今事務局からありました、訪問できそうな企業、メンバーが集合して協議できそうな場所について、ご意見をいただきたいというところで、これからブレイクアウトルームに入っていただきまして、皆様からご意見をいただきたいと思います。その前に、内容等に関わって何かご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは、ここからブレイクアウトルームに移り、皆様から具体的なアイデアをいただく時間したいと思います。本日は、訪問できそうな企業、子供たちが考えを共有でき、協議できそうな場所について、できるだけ多くの案を出していただくことも目的としています。実現の可能性や調整の可否については、この段階では気にせず、行って見たら面白そう、こんな体験ができそう、といった視点で結構ですので、自由にご意見いただければと思います。それではあらかじめルームを設定してありますので、自動的に移動します。しばらくお待ちください。

(ディスカッション2)

【河西義務教育指導係長】では、音声の方ミュートでお願いをいたします。ブレイクアウトルームでの検討が終わりました。これから各グループからの発表に移りたいと思います。発表は各グループの記録担当の方が行いますので、順にグループ1からお願いします。

【グループ1記録担当】1グループの方で話題になった点としては、理系人材の輩出という点から、やはり長野県はものづくりというところがありますので、製造業あたりの見学・企業訪問ができるといいのではないかなという話と、あと農業・林業の体験や木工関係のこともできるといいのではないかなという話が出てきました。特にその中でも、ドラマの『下町ロケット』のように、プライドを持って取り組む企業さん。あと大企業と中小企業との関係についても、見学しながら考えられるような機会もあるといいのではないかなという案が出てきました。また話題として、土曜日に訪問することについて、受け入れが難しい可能性もあるのではないかなということで、7月11日が本当によいのか、もう少し夏休みに入った平日あたりもいいのではないかなという検討をしてもいいのではない

かということ。あと、学校の出席扱い。平日に行う場合、その辺についても、これから検討したほうがいいのではないかという意見が出ました。以上です。

【グループ2記録担当】 長野県の魅力の1つである製造業、また観光業が非常に盛んになっている。特に松本は、観光地のハブ的な要素を持っていますので、松本城での通訳のボランティアの方との交流等も話題に上がりました。また、製造業で言えば、エプソン等もありますが、世界でもトップクラスの大きな企業だけではなくて、松本のギターのフジゲンさんのように、やはりこだわりを持ってやっていらっしゃる、世界に繋がるものを作っているといった企業が、魅力の1つになるのではないかという話題がありました。「子どもキャリアラボ長野」というサイトの中には、職場体験を提供している企業様が掲載されていますので、その活用も話題として提供されました。また木材の関係でも、松本民芸家具、松本手まりや漆器とありますが、例えば山から時間をかけて、長期サイクルで生み出される木と人との繋がり。そういったところから、こういったものが長野県の伝統工芸になっているのか、そういった繋がりを学ぶ場も提供できるのではないかということが話題になりました。メンバーが集合できそうな場所として、エムウイングを話題に出していただきましたが、石井味噌の見学等も、湧水を使って信州ならではの場所として出していただいたところです。以上になります。

【グループ3記録担当】 こちらのルームで話題になっていたこと、大きく3つほどあります。まず、色々な目に見えているものの裏側に注目して見学をさせていただくというのは、非常に面白いのではないかというご意見が出ました。例えばスーパーのストックヤードでの水や食品の管理や処理の関係、駅や空港等の公共施設の裏側。そういったところを見学させていただくことによって、普段私たちが利用している電車や飛行機を見る目線も変わってくるのではないか、ということでご意見をいただいております。それから2点目ですが、1つのテーマに着目しながら、それを色々な角度から見ていくという、テーマ性のある企業見学も面白いかなということで。例えば、松本であるとやはり家具などのものづくりのところが、豊富だと思えますけれども、1つの家具を作るために木だけではなくて、金具が必要だったりとか。物をいろんな視点から見ていくことによって、色々な企業の方が関わり合って、ものに発展していくというようなところ。そういった1つのテーマで複数の企業を見られると良いのではないかということです。それから3点目ですが、世界との繋がりというところで。長野県から世界に発信をしている企業さん。例えばホクトさん、マルコメさん、八幡屋礒五郎さんというようなお名前も出していただきましたが、逆に海外から長野に入ってきて起業されて事業展開されている。そういった企業さんも視野に入れていくと良いのではないか、というご意見がありました。以上です。

【グループ4記録担当】 まず訪問できそうな企業については、石井味噌さん、セイコーエプソンさん、本山製作所さん、サントリーの大町工場さんと具体的に名前を挙げていただきました。ただこれまでも話題になっていた通り、土曜日は企業が休みということで、そこら辺の懸念があるのではないかということ。あともう少し後なら、子供たちも夏休みで対応が可能ではないかなどというお話がありました。また企業という視点から少し変わって、信州大学の水の研究をしているアクアリジェネレーション機構についても、紹介をしていただきまして、そこら辺も最先端技術と長野県ならではの

ということで、面白い視点ではないかというようなご意見をいただきました。Astra!メンバーが集合して協議できそうな場所につきましては、松本合同庁舎だとか信州大学や県立高校。子供たちがこれから進むであろう進路を見据えたような場所を考えていくと、子供たちは普段なかなか入ることはないと思うので、面白いのではないかというご意見をいただきました。その他、飯田の多摩川精機さん、宇宙関係の企業であるとか、理系人材の不足が課題になっている中で、そのような先端的なものづくり等を見学し、知るといことは価値があるのではないかというお話をいただきました。また商工会議所連合会さんからは、100周年の記念誌をいただけるということで、そちらにいろんな写真が載っているので、キックオフミーティングのところで、ご活用くださいというありがたいお話をいただきました。以上です。

【グループ5記録担当】 中信地区には、海外と関わりのある企業がたくさんあるというお話いただきまして、例えば大王わさび農場、木曾漆器、アスピアさん、松本山雅など、農業、伝統産業、建築、スポーツと、幅広い分野の企業についてアイデアをいただきました。また藤原印刷、長野トマト等、地域の企業等も含めまして、中小企業でも、海外と交渉しながらの事業事例があるということをお話いただきまして、子供たちにとって非常に刺激的な学びになる、参考になるような企業の例をたくさんいただきました。以上です。

【河西義務教育指導係長】 活発なディスカッションで、貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。続きまして「ガチなが」及び寄付募集の協力について田中課長お願いします。

【田中課長】 それでは画面の方をご覧ください。Astra!の事業につきましては、本年度は海外研修については、予定をしております。その代わり、海外疑似体験ということで、8月に予定をしております。しかしながら、Astra!の趣旨も鑑み、ぜひ来年度以降、本物に触れるということで、海外研修を実施したいと考えているところでございます。つきましては、そのための資金を募金により、募ってまいりたいと考えております。今画面で見いただいているのは、「ガチなが」のホームページの画面でございます。こちら3月の末に公開を開始させていただきました。また、こちらの寄付をお願いするカードにつきましても、作成をさせていただいたところでございます。また先月末には、Astra!の実行委員会である商工会連合会様にご協力いただきまして、総会にて、また町村会様にもご協力いただきまして、役員会にて、時間を設けていただき、私たち事務局がお伺いし、直接寄付のお願いをさせていただく機会もいただいたところでございます。ぜひこちらの寄付について、広く周知・お願いをする場を事務局に与えていただきたいなと思っているところでございます。それぞれの所属団体のところで、周知する機会がある、または、カードを配るのに協力できるよということがありましたら、ぜひお声がけをいただければと考えているところでございます。何卒こちらの寄付につきましても、皆様のお力をお借りしながら、実現に向けて動いてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【河西義務教育指導係長】 本日はご多用のところ、第1回 Astra!実行委員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。また長野大学・飯塚先生におかれましては、グループディスカ

セッションにもご参加いただき、心より感謝申し上げます。本日改めてお願いしました、6月6日のキックオフミーティング及びグローバル体験キャンプへの参加につきましては、この後メールを送らせていただきます。ご出席いただく場合には、お名前をご連絡いただければ幸いです。また、各行事の運営にあたり、ぜひいずれかの行事の企画・運営にご協力いただけますと、大変心強く思っております。引き続き、運営スタッフへのご協力をお願いいたします。次回の実行委員会は、9月8日火曜日、10時から11時30分までを予定しております。それでは、これにて本日の会議を閉じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。